

日本外科教育研究会主催

# 10th Surgical Education Summit

プログラム・抄録集

2023年9月2日(土)・3日(日)

参加費:6000円

会場:北海道経済センター 8階Bホール  
(Webとのハイブリッド開催)

**【主催】日本外科教育研究会**

(JASE:Japanese Association for Surgical Education)

<https://www.surgicaleducation.jp>

事務局:北海道大学医学研究院 消化器外科学教室II

**【運営事務局】マイス株式会社**

〒060-0041 札幌市中央区大通東7丁目18-2

TEL:011-280-8008/FAX:011-280-4000

[info@surgicaleducation.jp](mailto:info@surgicaleducation.jp)

# ECHELON ENDOPATH® Staple Line Reinforcement



従来通りの操作性を維持したまま、  
ステイ플ラインの補強・止血をサポート

販売名：エシェロン エンドパス ステイ플ライン リンフォースメント 承認番号：30300BZX00044000  
販売名：エンドスコピック パワード リニヤー カッター 認証番号：22500BZX00396000  
販売名：GSTカートリッジ 承認番号：22700BZX00155000

**ETHICON**  
Johnson & Johnson SURGICAL TECHNOLOGIES

Reimagining how we heal™

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2 TEL.0120-160-834

175045-210427  
©J&JKK 2022

## 9月2日(土)

- |               |   |
|---------------|---|
| 11:30 - 12:30 | 役員・世話人会議                                |
| 13:00 - 13:05 | 開会の挨拶                                   |
| 13:05 - 13:10 | 研究会説明                                   |
| 13:10 - 14:00 | セッション 1 (発表 6 分質疑 4 分) シミュレーショントレーニング 1 |
| 14:00 - 14:10 | 休憩                                      |
| 14:10 - 15:00 | セッション 2 (発表 6 分質疑 4 分) シミュレーショントレーニング 2 |
| 15:00 - 15:20 | コーヒープレイク                                |
| 15:20 - 16:20 | セッション 3 (発表 6 分質疑 4 分) 教育環境 1           |
| 16:20 - 16:30 | 休憩                                      |
| 16:30 - 17:50 | セッション 4 (発表 6 分質疑 4 分) 教育環境 2           |

## 9月3日(日)

- |               |  |
|---------------|--|
| 08:00 - 08:05 | 研究会説明                                      |
| 08:05 - 08:55 | ポスターセッション (発表 1 分質疑 3 分)                   |
| 08:55 - 09:05 | 休憩   |
| 09:05 - 09:25 | スカラーシップ報告                                  |
| 09:25 - 09:30 | 休憩   |
| 09:30 - 10:10 | 特別講演                                       |
| 10:10 - 10:30 | コーヒープレイク                                   |
| 10:30 - 11:40 | セッション 5 (発表 6 分質疑 4 分) 要望演題:ロボット・AI時代の外科教育 |
| 11:40 - 11:50 | 休憩   |
| 11:50 - 13:00 | セッション 6 (発表 6 分質疑 4 分) 指導法                 |
| 13:00 -       | 閉会の辞                                       |

### アンケートフォーム

下記のページにリンクボタンを設置しております。

<https://surgicaleducation.jp>

9月2日(土)

11:30 - 12:30 役員・世話人会議：進行司会 倉島 庸

13:00 - 13:05 開会の挨拶 倉島 庸

13:05 - 13:10 研究会説明 高見 秀樹

13:10 - 14:00 セッション1 シミュレーショントレーニング1

司会：高見 秀樹（名古屋大学消化器・腫瘍外科）

植村 宗則（神戸大学）

1. 初期研修医を対象とした基本的な外科手技のカリキュラムの開発  
田中 良太（杏林大学医学部附属病院）
2. 腹腔鏡手術技量向上のための機械学習を用いたオンサイトトレーニングシステムの開発  
海老名光希（北海道大学大学院情報科学院）
3. LPEC シミュレータ開発およびその検証と Global Surgery としての  
ネパール小児内視鏡外科手術の導入支援  
村上 雅一（鹿児島大学小児外科）
4. 反転学習を取り入れたオンライン教材を用いた step-by-step の鏡視下縫合結紮トレーニングの  
取り組み  
岡田 拓久（群馬大学大学院 総合外科学講座）
5. Cadaver Surgical Training におけるチーム学習による教育効果  
和田 渚（北海道社会事業協会帯広病院）

14:00 - 14:10 休憩

14:10 - 15:00 セッション2 シミュレーショントレーニング2

司会：安倍 崇重（北海道大学 泌尿器科）

鈴木 研裕（聖路加国際病院）

1. 沖縄県一般市中病院での外科初期研修結紮・縫合修練プログラム  
上江洲一平（那覇市立病院 外科）
2. 腹腔鏡手術カダバートレーニングにおける鉗子動態解析の試み  
晏 凌波（北海道大学大学院情報科学院）
3. 多角的視野外科手技教育を可能にする3D スキャン画像の作成～ブタ肝移植モデルを用いて～  
福本 将之（長崎大学大学院 移植・消化器外科学）
4. 教育カリキュラムに基づいた腹腔鏡下ハンズオンの試みと成果  
脊山 泰治（がん・感染症センター都立駒込病院 肝胆膵外科）
5. 3D プリントによる患者個別血管モデルを活用したトレーニングシステムの開発  
～エキスパートの血管挿入技術向上の試み～  
森田 亮（北海道大学病院放射線診断科）

15:00 - 15:20 コーヒーブレイク

15:20 - 16:20 セッション3 教育環境1

司会：大下 彰彦 (JA尾道総合病院)  
滝田 純子 (NHO宇都宮病院)

1. 産婦人科女性医師の未来を考える  
梅本 美菜 (札幌医科大学 産婦人科学講座)
2. 誰もが働きやすく持続可能な職場環境整備を目指した取り組み  
滝田 純子 (NHO宇都宮病院外科)
3. 感情ことばは手術室の空気をどのように変えるのか？  
—こころとからだがよろこぶ術中コミュニケーション—  
松本 貴 (医療法人伯鳳会 大阪中央病院 婦人科)
4. イクドクセミナー参加者への中期的教育効果の報告  
松浦 寛子 (陸上自衛隊帯広駐屯地医務室)
5. SDGs！持続可能な産婦人科診療のためにできること  
神下 優 (佐賀県医療センター好生館 産婦人科)
6. 人口減少地域での初期研修医への産婦人科教育  
鈴木 陽介 (利根中央病院産婦人科)

16:20 - 16:30 休憩

16:30 - 17:50 セッション4 教育環境2

司会：山本 学 (足立共済病院)  
本間 崇浩 (聖マリアンナ医科大学呼吸器外科)

1. 日本と世界の外科教育の現状比較国際サーベイ：指導医版  
倉島 庸 (北海道大学 消化器外科Ⅱ)
2. 泌尿器科領域における修練医の手術習得に関する Gap analysis  
堀 寛太 (北海道大学腎泌尿器外科学教室)
3. 筑波大学泌尿器科におけるリクルートとキャリアサポートの現状  
木村 友和 (筑波大学附属病院 泌尿器科)
4. 新時代の外科研修プログラム：若手外科医がリードする事前ニーズ評価と相互評価システムの導入  
石堂 敬太 (旭川赤十字病院外科)
5. 日本外科教育研究会の新時代に向けたニーズアセスメント調査  
福本 将之 (長崎大学大学院 移植・消化器外科学)
6. 当院における外科教育の取り組みと問題点  
三輪 高嗣 (愛知県厚生連江南厚生病院 外科)
7. 泌尿器科医師が手術時に感じているメンタルワークロードに関する前向き観察研究  
原田 茂 (北海道大学腎泌尿器外科)
8. 世界の外科修練医の現状把握：世界的なニーズ調査  
パウデル サシーム (恵佑会札幌病院 外科)

08:00 - 08:05 研究会説明 高見 秀樹

08:05 - 08:55 ポスターセッション

司会：亀山 哲章（荻窪病院）

肥田 侯矢（京都大学消化管外科）

1. 器械出し看護師の技術評価の自動化に向けての第一歩  
村上 貴志（東京歯科大学市川総合病院 心臓血管外科）
2. 外科診療におけるタスクシフトと医師事務作業補助者の教育  
西澤 祐史（国立がん研究センター東病院）
3. しくじり先生リターンズ～省察の先に見出した医学教育の光明  
本間 崇浩（聖マリアンナ医科大学呼吸器外科）
4. 学術指導に関する指導医評価システムとその構築に向けて  
安部 智之（東広島医療センター 消化器外科）
5. オンサイトからオンラインそしてオンサイトへ、山根塾 10年の歩み  
山根 裕介（長崎大学病院腫瘍外科）
6. 新しい組織での実践共同体の盲点～自身の省察より～  
宮本 真豪（埼玉県立がんセンター）
7. 当科のメディカルスタッフに対して実施した勉強会の経験  
長嶋 康雄（東京蒲田医療センター 外科）
8. SIMPL 導入に向けた1年間の取り組み  
鈴木 研裕（聖路加国際病院 消化器・一般外科）
9. 通年開催型の外科ハンズオンセミナー「雄飛塾」と、受講者のキャリアパス  
堀 周太郎（慶應義塾大学医学部 外科学教室）
10. 令和4年改訂モデル・コア・カリキュラム GE に寄せた診療参加型実習  
三浦 聖子（金沢医科大学 医学教育学）
11. 自己評価型の実習項目達成表の導入による学生の診療参加型臨床実習の充実と評価の向上  
岡田 淳志（名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野）
12. 医学部実習生に対するセルフマネジメント型スキルアップコースのトライアル  
谷口 春樹（浦添総合病院呼吸器センター外科）

事前登録のありましたポスターセッションのスライドは  
下記の URL にて配信しております。

[https://surgicaleducation.jp/SES2023\\_poster.html](https://surgicaleducation.jp/SES2023_poster.html)



08:55 - 09:05 休憩

09:05 - 09:25 スカラシップ報告

司会：倉島 庸

マギル大学・京都大学呼吸器外科 徳野 純子

09:25 - 09:30 休憩

09:30 - 10:10 特別講演

司会：倉島 庸

Michael Awad (ASE 会長)

10:10 - 10:30 コーヒーブレイク

10:30 - 11:40 セッション5 ロボット・AI時代の外科教育

司会：和田 則仁 (湘南慶育病院)

磯部 真倫 (岐阜大学医学部附属病院)

1. 3Dモデルを用いたロボット支援気管支形成術のシミュレーション  
橋本 浩平 (杏林大学医学部 呼吸器・甲状腺外科学)
2. 若手外科医へのロボット支援手術指導  
藤原 理朗 (高松赤十字病院)
3. ロボット手術シミュレータを用いた効率的なトレーニングに関するランダム化比較試験の計画  
尾地 伸悟 (京都大学大学院医学研究科 消化管外科)
4. 胃癌手術におけるロボット手術教育の工夫  
谷岡 利朗 (東京医科歯科大学消化管外科学分野)
5. がん専門病院におけるロボット支援手術教育の取り組み  
眞部 祥一 (静岡県立静岡がんセンター大腸外科)
6. ロボット支援下手術に対する外科医と医学生の意識差調査  
小林慎一郎 (長崎大学病院 移植・消化器外科)
7. 低侵襲手術時代における術中 AI ナビゲーションを用いた新たな外科教育  
福井 雄大 (虎の門病院 消化器外科)

11:40 - 11:50 休憩

11:50 - 13:00 セッション6 指導法

司会：西澤 祐吏 (国立がん研究センター東病院)

田中 良太 (杏林大学医学部)

1. “もやもや”レジデント行動に対する文化人類学的視点からのヒント  
伊藤 栄作 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)
2. 頭頸部外科手術の基盤となる技術スキルに対する認識—若手医師と熟達医との違い—  
三谷 壮平 (愛媛大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)
3. 成長が遅い修練医に対する自発的な学習意欲を生み出す教育手法：3つ質問法  
今井 賢 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
4. クラウドサービスを利用した産婦人科後期研修医に対する腹腔鏡下手術指導  
市川 冬輝 (市立貝塚病院産婦人科)
5. “やってみる”から“できるようになる”外科教育へ - 初期研修医からの提言 -  
平塚 瑞歩 (筑波大学附属病院初期研修医)
6. 地域中核病院における外科チームの成熟と外科医個人の成長の両者を考慮した当科の取り組み  
檜崎 肇 (北見赤十字病院外科)
7. 若手の「やる気」を高める！当科における手術手技教育の成果と課題  
野原 隆弘 (金沢大学附属病院泌尿器科)

13:00 - 閉会の辞 平野 聡 (北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ 教授)